



からん ころん便り

2018年3月号
第84便

三島町観光協会『からんころん』から
三島町民・三島ファンの皆さまへのお便り

からんころんニュース

① 第46回雪と火のまつり

今年は天気恵まれ昨年よりも多くの方々にご来場いただき、盛況のうちに無事終了することができました。イベント開催にあたりご協賛、ご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございました。

ご協力いただいた皆さまは以下の通りです。

滝谷建設工業(株)	佐久間建設工業(株)	羽賀建設工業(株)
三島小学校	三島中学校	警察署三島駐在所
消防団宮下班	消防署三島出張所	御神木・ワラ提供者
町民の皆さん	商工会	役場
太神楽保存会	採火式関係者	模擬店出店者
町内各商店	道の駅みしま宿	山中ファーム(有)
会津信用金庫	東北電力	いわき市四倉
老人クラブ連合会女性部	交通安全協会三島分会	
JA会津よつば三島支店	三島町地域おこし協力隊	
駐車場利用にご協力いただいた土地の所有者の方々		
サイの神&御幣製作協力者(川井・滝谷・大登地区)		
協賛者(町内外の各事業所・酒造会社等)		

② 中華圏の旧正月“春節”のおもてなし

昨年10月頃から2月末までの約4か月間で、三島町を訪れた外国人観光客は1000人以上です。その内8割が中華圏の方々のため、中華圏の旧正月“春節”に合わせ、道の駅にて豚汁&甘酒のお振舞いを行いました。身体が温まり嬉しい、日本旅行5日目での様なおもてなしは初めてだ、などと好評でした。【裏面参照】

③ 豪雪地帯で雪国体験 in 間方

2月24・25日に19名が体験ツアーに参加しました。1日目にはかんじき作り、夜は地元の方々が道路沿いに設置した幻想的なスノーキャンドルのもてなしに感動していました。2日目は自作のかんじきを履いての雪山散策と野外でのコーヒブレイク、童心に戻ってげすぞりしたり、スノーモービルに乗ったりと、雪山でのアクティビティを存分に楽しみました。【裏面参照】



からころん茶屋《3月》



田舎けんちん蕎麦は今月までとなります。

食べたことのない方はぜひ一度ご賞味ください!

日時	オーナー	メニュー
10・11日 11時～14時	みやした 蕎麦と豆腐の会	ざる蕎麦・けんちん蕎麦 (手作り豆腐付き)
24・25日 11時～14時	みやした 蕎麦と豆腐の会	ざる蕎麦・けんちん蕎麦 (手作り豆腐付き)



三島町関連のイベント情報



3/13・14	三島町現地移住相談会“町で暮らす”(町内)
3/14	地域おこし協力隊活動報告会(町民センター)
3/17・18	第17回全国編み組工芸品展(山びこ) 第36回三島町生活工芸品展(生活工芸館)
4月下旬	第5回カタクリさくらまつり(大林ふるさと山)
5/4～6	風っこ只見線新緑号(只見線)
5/5	鬼子母神例大祭(西方地区)
6/3	第50回志津倉山開き(志津倉山)
6/9・10	第32回ふるさと会津工人まつり(工芸館周辺) てわっさの里まつり(宮下地区)



スタッフのつぶやき



今年の雪と火のまつりは久しぶりに好天の開催となり、多くの方にご来場いただき大変ありがとうございました。

また、このイベントを支えてくださっているの方々、大変お世話になりました。

ところで、先ごろの平昌オリンピック、連日TV観戦を楽しみました。4年に一度の舞台で力を尽くす選手たちに、たくさんの感動をもらいました。その時に思ったのは、インタビューにこたえるメダリストたちの対応のうまさです。原稿などなく限られた時間の中で、言葉の選択のうまさには感心してしまいました。今までの努力や試練の裏打ちがあるからこそ、心の内側から自然にあふれ出てくるものなのでしょうが、お世話になった人への感謝、自分へのねぎらい、競技への思いなど、話す言葉の重みや、真心を画面からも感じとることができました。

携帯が普及して直接言葉を交わす機会は減ってきていますが、話し言葉で伝えることの大切さを考えさせられました。【細堀】

三島町観光協会・観光交流館「からんころん」

☎0241-48-5000 事務局員：三浦・細堀・栗城
観光協会ホームページ、ツイッター、フェイスブック
で日本全国・全世界に向けて情報発信中!!

平成30年“春節”おもてなし



ビューポイントに
多くの外国人旅行者
道の駅でお振舞い



外国人旅行者を魅了する
三島町の絶景
大雪の中列車を待つ時も



平成29年度6回目の田舎暮らし体験ツアー



トレッキング途中に
コーヒープレイク
間方住民がかんじき作り指導



良い天気のもと集合写真
斜面でのげすぞり遊びは
多くの笑い声が

